



レーシングスピリットの ヘルメットづくり



レーシングエンジンがフキ上がりその出力を最大に発揮するピークに近づいた時、マシンの上で聴く吸気音と排気音の織りなす力強いハーモニーは言葉では

言い表わせない調べを奏でる。そして腰を蹴とばされるような加速感を体全体で味わいながら耳にするその調べは、マシンを操る者を陶酔の世界へと引きずり込んでゆく。そして摩擦係数の高いサーキット路面に喰いつくスリックタイヤが生み出す強烈なGは、人間の心の奥底に眠っていた何かをやり起こすのに十分な衝撃を与える。——レーシングマシンは、ただ走るだけでもそれ程までに感動的な生き物なのです。そして、その様なマシンを操りながら、人と人が競い合うレースだからこそ、そこには多くの人を引きつけるだけの大きな魅力が存在するのでしょう。

しかし、このレースの世界でトップレベルを目指す者には、その目前に精神面、テクニック面などの大きな壁が幾重にも立ちふさがっているのです。そして、その壁の一つ一つを己との厳しい闘いの中で克服しながら、トップへの道を極めて行くのです。Araiも、同じモータースポーツの世界で、ヘルメット造りという分野においてトップレベルを目指して闘っています。走りの分野は、トップのライダー達におまかせして、……というのは、そこへたどりつくまでの道の厳しさを、Araiは知り尽くしているから

です。“走り”は、趣味の範囲を超えない程度に楽しむことにしてその分、本職のヘルメット造りに熱を注いでいるのです。内容は異っていても、トップレベルを目指すという共通の目標をもつライダー達とAraiは、話しを交してみると、実に多くの点で共感を覚えることがあるのです。

例えば、ライダーがコーナーの突っ込みで、ブレーキングポイントを遅らせてできるだけ深く突込むこと、と同時に理想的なラインを取り、安定した姿勢で素早くコーナーを抜けるという2つの重要な要素のバランスをどうとるかを決断する時の心境は、Araiがヘルメットの商品化を企画する際に、“安全と遊びの要素をどういうバランスで組み合わせるか”を決める時のものと合い通じるものがあります。ヘルメットは先づ安全でなければなりません。しかしそれだけを追求してしまうと面白味のない商品になってしまいます。商品として受け入れられるためには、遊びの要素も含まなければいけない。しかし、度が過ぎるとヘルメットの本分をはずれてしまいます。安全でかつ商品としての価値を充分にもつ製品を造り出すために、そのバランスの度合を決定する

ことは、メーカーとしての信念に基づいて行う大切な決断です。この様な共通点があればこそAraiはレーサーの方々からヘルメットについてのアドバイスを頂い

ても、言葉ではうまく表現できない微妙なニュアンスを感性として受けとめることが出来るのです。そんな所もAraiの特色であり、大きな財産であると考えます。“趣味の範囲を超えない……”とはいえ、微妙なニュアンスを感じとれるということは、Araiもそれなりのライティングをこなすということです。言い換えれば、バイク好きの心がAraiの基礎になっていると言っても過言ではないでしょう。ヘルメット作りには不可欠なこの要素を、仕事上はもちろんの事、個々の中でも大切にしていきたいと思っています。

ところで、伸び盛りの、可能性を秘めたレーサーに共通して言えることは、過度の苛だちと危機感を常に抱えているということです。“なぜあのコーナーをもっとスムーズにクリア出来ないのか？”“どうしたらもっと深く突っ込めるのか？”等々。そして、そんな苛だちが己の精進を駆り立てるエネルギー源となり、成長へとつながっているのでしょう。Araiも、成長過利にある発展途上企業。常に同じ様な苛だちを覚えています。そしてそれを糧にがんばっています。より良いヘルメット作りを目指し、サスガと言って頂ける日を夢見つつ、